

オーストラリア アロマセラピーNEWS

Vol.3 マーヴォアロマスクールのこと

シドニーでアロマセラピースクールを開校している相澤正弘校長が、アロマ関連の情報をお伝えする連載6回シリーズの3回目。今回は、スクールを開校するに至った経緯と、スクールへの思いを語っていただきました。

本当に生活に役立つアロマセラピーの普及を目指す

皆さんは、人生の岐路に立った時、何を手がかりに前に進みますか？

僕は、自分の直感を大事にします。というのも、直感は、自分のこれまでの知識や経験に支えられた「望ましい未来への道標」だと考えるからです。

アロマセラピーの資格を修得した後、これから何をすべきかとことん考えました。今までの仕事に戻るか、それとも新たにアロマセラピストとしてトリートメント主体で活動するのか、はたまた他の選択肢はあるのか。

そんな折、アロマセラピーについて、ある女性からちょっとした質問を受けました。僕は、自分の持てる知識で、できる限り分かりやすく、かつ手短かに伝えたのですが、その方の満足そうな表情を見た時、なにか達成感のようなものを感じ、同時に、ひとつのひらめきが生まれました。

そうだ、アロマセラピーをもっと多くの人に伝えていこう。興味はあっても何となく難しそうと感じている人や、そもそもアロマを知らない人にもその良さを知ってもらえたら、大きな意味で、世の中をより良くできるのではないかな。

そこで思いついたのが、スクールの開校です。思い立ったらすぐに実行に移すのが僕のやり方です。そして2009年10月、満を持して「マーヴォアロマスクール」を立ち上げました。

開校以来、いつも心がけているのは、①正しいアロマセラピーを分かりやすく伝えること、②常にアロマセラピーの最新情報を伝えること、③学んだ人が未永くアロマライフを楽しめるようにすること、そして④授業料以上の知識と満足を得てもらうということの4つです。

これまで320名の方が受講されました。授業では、一般の講義のほか、ワークショップやクラフトなども行い、自宅で関連材料をすべて揃えなくてもさまざまな形でアロマを体感してもらえよう工夫を凝らしています。

来年は、日本アロマセラピー機構(WOA)の副理事である川端医師(川端ペインクリニック)の協力を得て、WOA認定校(=WOAオーストラリア代表)となる予定です。これで、オーストラリアにいながら日本の資格を修得できるようになります。

そういうわけで、アロマセラピーは僕のライフワークになったのですが、とは言いつながら、アロマセラピーがなんにでも効く万能ツールだとは思っていません。

ただ、アロマセラピーを取り入れると、日々の生活の質がずいぶん豊かになることだけは確信があるのです。

★在校生の"リアルボイス"

「オーストラリアに住んでいますが、何かを学びたいと考えているところに、タイミング良くマーヴォアロマスクールとめぐり合いました。授業では吸収すべきことがたくさんありますが、時間が経つのも忘れるほど楽しいです。今一番興味があるのは、精油のブレンド。シナジー効果のアップを目指して、美容のため、家族のためにブレンドを試行錯誤しながらアロマグッズを作っています。ここで学んだことは実践的で役立つものが多く、自分の中の引き出しがひとつ増えたような気がしています」(岡松千恵)



「授業は分かりやすく」がモットー。五感を使って覚えてもらうよう心がけている



レッスンは、フラワーティーを楽しみつつ、リラックスしながら受けられる



相澤正弘

Masahiro Aizawa

マーヴォアロマスクール校長。ボンシツ株式会社代表。IFA、IAAMA、ITEC、ATMS認定アロマセラピスト。10年にわたり、コスメメーカーで自然派コスメ製品の営業および開発に携わる。現在、スクールで教鞭を執るかたわら、自社ブランドのアロマスキンケア製品「C19」「Green Shower Aroma」の開発・監修を手がける。サーフィンがプロ級。在豪日本人向け情報誌『ジャパパラリア』でアロマ関連コラム連載中。シドニー在住。

Marvo Aroma School

Suite3, Level1, 30-36 Albany St., St Leonards
URL: <http://www.marvo-aromatherapy.com>
info@marvo-aroma.sakura.ne.jp

ボンシツジャパン

〒225-0024横浜市青葉区市ヶ尾町523-8
TEL:045-979-1909 FAX:045-975-0919
info@c19.com.au